

●どこの地域のごみを処理していますか？

養老町・海津市・関ヶ原町の可燃ごみと資源ごみを処理しています。(緑色と赤色の収集袋)

●1日にごみの入ってくる量(台数)は？

1日に平均68t(56台)のごみが入ってきます。うち資源ごみが1.2t含まれています。

●ごみが集中する時期は？

連休明け(GW、お盆休み、年末年始など)にごみが集中して入ってきます。

●多いごみの種類は？

紙類、布類、ビニール類の種類のごみが多い状況です。

●1日に燃やすごみの量は？

1日に平均55tのごみを燃やしています。

●ごみを燃やす時間は？

1日24時間の連続運転でごみを燃やしています。
なお、3ヶ月毎に焼却炉の補修のため停止する期間があります。

●ごみは何度で燃やしていますか？

熔融炉では1,200℃~1,400℃の温度でごみを燃やしています。

●養老ドリームパークはいつできましたか？

平成21年(2009年)1月に完成しました。

●何人の職員が働いていますか？

全体で 50 人の職員が交代制で働いています。また、最も職員が多い時間帯（8:30～17:15）では約 30 人が働いています。

●大きなごみはどのように処理するのですか？

布団、じゅうたん、畳などの大きなごみは、機械で切断して小さくしてから焼却炉で燃やしています。

●1回でクレーンのつかめる量は？

最大で 1,800kg（乗用車 1 台分）のごみをつかむことが可能です。

●クレーンにはどのような役割がありますか？

ごみピットに入ったごみを移動させるだけでなく、ごみをかき混ぜたり、ごみ袋を破いたりしています。

●リサイクルセンターで処理が可能な資源ごみの種類は？

プラスチック製容器包装、発泡スチロール、段ボール、雑誌、新聞、布類、ガラスビン、缶、陶磁器、ペットボトル、剪定枝などの処理が可能です。

●煙突の高さは何 m ですか？

49m です。

●ごみピットの大きさは？

- ・ごみピット (W28.5m×D10m×H10m)
- ・破砕ごみピット (W10.5m×D6m×H10m)

ごみピットで800t、破砕ごみピットで200tの合計1,000tのごみを溜めることが可能です。

(10日～15日分のごみを溜めておくことができます。)

●処理する時に困ることは何ですか？

燃えないごみが入っていると機械の故障の原因となり、ごみを燃やせなくなってしまうことがあります。

また、全国的に問題となっているリチウムイオン電池やスプレー缶などは火災の原因となり大変困っています。(令和3年9月にはリチウムイオン電池が原因と思われる火災が発生しました。)